



日野市核兵器廃絶・平和都市宣言 40周年事業

みんなで話そう！平和都市宣言って、遠いもの？
わたしたちとのつながり

第2回目

- 日野市企画部平和と人権課
- 令和4年10月16日(日)



日野市核兵器廃絶・平和都市宣言 40周年事業

みんなで話そう！平和都市宣言って、遠いもの？
わたしたちとのつながり

第1回目の振り返り

- 日野市企画部平和と人権課
- 令和4年10月16日(日)



1、はじめに

2、平和都市宣言のなりたち

3、市の平和事業のご紹介



現状と課題から今回の事業の目的

戦後77年目を迎えた今も、世界中で戦禍は無くなっていません。核保有国が増え、核の脅威はむしろ広がっています。



核兵器廃絶と平和を市民生活を願った「日野市核兵器廃絶・平和都市宣言」の制定40周年を迎えた今、もう一度この宣言を読み直し、理解を深め、平和な未来を考える事業を行います。



日野市核兵器廃絶・平和都市宣言

昭和57年10月8日

議 決

巨大な量の核兵器は、米ソ両国の戦略兵器制限交渉などをもつてしても、もはやその拡大を止められない事態となつている。

ひとたび核兵器が使用されることになれば、その結果は全人類とその文明の滅亡であることはいうまでもない。

日野市は、核兵器が地球上から姿を消す日まで、その廃絶を叫び、平和が市民生活の基本であるとの理念のもとに、ここに日野市が核兵器廃絶・平和都市であることを宣言する。



<世界の動き>

- ・昭和54年12月
NATO(北大西洋条約機構)諸国に中距離ミサイル配備を決定したことにより、ヨーロッパやアメリカでかつてない規模の反核運動が起こった。
- ・昭和57年7月にニューヨークで開催される国連軍縮会議に向けて、日本でも昭和57年3月頃から反核・軍縮を求める草の根運動が日本各地に広がった。

< 国内の動き >

・昭和57年3月21日に広島で「平和のためのヒロシマ行動」があり、約20万人が平和公園に集まり核兵器に反対する意思を示す集会が開催された。

・東京でも昭和57年5月23日に「東京行動」があり、40万人もの人が反核集会に参加した。



< 日野市の動き① >

・日野市でも昭和57年5月29日に「反核、平和のための日野市民集会」が開かれ、500名以上の市民が参加した。

・日野市では昭和57年6月議会について「非核都市宣言」に関する請願が出され、市議会で採択された。





日野市核兵器廃絶・平和都市宣言40周年

請 願 第57-21号

受付日 昭和57年 6 月17日

請 願 者

住 所

氏 名 赤 松 美 彦 ほか3名

「非核都市宣言」に関する請願

紹介議員 小 山 良 悟 飯 山 茂

夏 井 明 男 米 沢 照 男

一ノ瀬 隆 谷 長 一

要 旨

私たち日野市民は、平和をねがう立場から、日野市議会が、つぎの宣言を採択されるよう請願いたします。

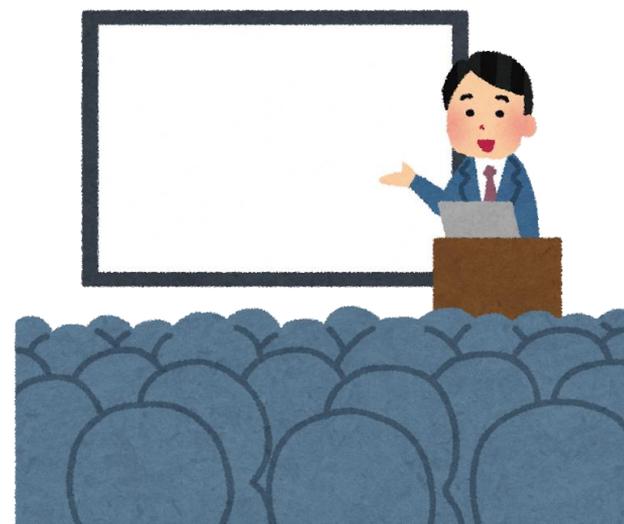
私たち日野市民は、世界から核兵器が廃絶され、わが国において非核三原則が完全に実施されることを願い、日野市が非核都市であることをここに宣言します。

年 月 日

日 野 市 議 会

< 日野市の動き② >

・昭和57年8月5日には広島県安芸郡府中町の呼びかけで日野市を始め、全国から9市町村の首長が参加し、初の「**非核宣言シンポジウム**」が開かれた。





核兵器廃絶・平和宣言を呼びかける共同声明

昭和57年8月5日

巨大な量の核兵器は、米ソ両国の戦略兵器制限交渉などをもってしても、もはやその拡大をとめられない事態となっている。

ひとたび核兵器が使用されることになれば、その結果は全人類とその文明の滅亡であることはいうまでもない。

自治体の平和政策は、自然界の秩序を維持することを原則として、安全で快適、文化的にも魅力ある人間性豊かな都市環境を創出し、住民の住み、働き、学び、憩うという活動が円滑に行えるよう保障することのできる都市づくりが目標である。核軍縮拡大競争により、核兵器が高度化・多様化され、全人類が破滅の危機に立たされているとき、人類最初の原爆被災体験を基本にすえて、人類が共存し、その一人ひとりが生命の尊厳を保って、人間らしく生活できる真の平和実現に寄与することは、自治体に課せられた重大な使命である。

核兵器が地球上から姿を消す日まで、その廃絶を叫び、平和が住民生活の基本であるとの理念のもとに、全国の自治体さらには全世界のすべての自治体に核兵器廃絶・平和宣言を呼びかけるものである。



< 日野市の動き② >

- ・同年9月議会において、「日野市核兵器廃絶・平和都市宣言」の原文が議案上程され可決し、昭和57年10月に施行した。





東京都日野市 企画 財政部 広報課 広報係 日野市神明1-12-1 電話85-1111

日野の 大報

郷土の文化財を守ろう
文化財保護強調週間
11月1日～7日



▲昨年の産業まつりから

ご家族でお出かけを

'82 産業まつり 十一月十三日～十四日

「日野市産業まつり」は、市民生活の活性化を図るため、例年の農産物展「農産品の予約販売」は、十三日(土)の午前七時から。また、十三日と十四日の両日は、午前八時三十分から午後五時まで、市民会館(旧)の市民会館交通広場にて開催される。

日野市産業まつりが、十一月 三日、午前九時三十分から午後 十三日(土)、十四日(日)の 四時迄市民会館前広場の特設会場で開催される。

場と市役所を隔てた日野中央公園で開催される。

産業まつりは、市内で生産された農産物や加工農産品の展示と即売を行い、地域住民とのふれあいや、生産技術の改善向上を図る目的で開催される。

●農産物展

市内で生産された農産物を一堂に集め即売等を行います。同時に、野菜、花菜、野菜類などの即売を行います。

●商工業展

日野市に在る生産品の展

全国物価統計調査

11月8日～19日

来る十一月八日から十九日まで

に「昭和五十七年全国物価統計調査」が実施されます。この調査は、経済連の基礎資料として、物価の統計調査する国の調査で、五社に一回行われています。

調査は、百貨店、一般の小売店、理髪店、家賃などを調査する小売調査と、卸売店を調査する卸売調査に分かれます。卸売は東京都、小売は日野市、それぞれ、調査員が対象となる店

来る十月八日は、日野市民と日野市として、特筆されるべき都市景観が壊滅された悲劇の日であります。

当日は九月定例市議会の際替日に当り、五十六年度の決算認定など多数の可決議案の中で、議案第九号「日野市核兵器廃絶・平和都市宣言」が全会一致で採択されているように思われました。

「巨大な量の核兵器は、米ソ両国の戦後締結交渉など

をもちて、もはやその拡大を止められない事態となつていきました。

ひたひた核兵器が使用されることになれば、その結果は全人類の存亡の岐路にたつていきました。

まちをつくる 市長室から

日野市核兵器廃絶・平和都市宣言について

日野市長 森田喜美男

「核兵器」は、人類の歴史から見て、核兵器が地球上から姿を消す日まで、その廃絶を叫び、平和が市民生活の基本であるとの理念のもとに、日野市が核兵器廃絶を、平和都市宣言の第一歩として、市民会館前広場にて、十一月八日から十九日まで

「核兵器」は、人類の歴史から見て、核兵器が地球上から姿を消す日まで、その廃絶を叫び、平和が市民生活の基本であるとの理念のもとに、日野市が核兵器廃絶を、平和都市宣言の第一歩として、市民会館前広場にて、十一月八日から十九日まで



も「ノーモア・ヒロシマ」の旗幟はもうソコ(ソコ)から、ノーモア・ヒロシマ(もうヒロシマ)の旗幟を知り、(もうヒロシマ)の旗幟も一歩前進した。日野市議会でも、核兵器の廃絶を求める市民運動の求援があり、前進はなされたものです。

今後のアピール活動で、核兵器をなくすことを願って、日野市平和都市宣言を紹介する予定です。



平和への願いが
込められた宣言塔

